



2026年4月10日

各 位

会 社 名 株式会社 大 和
代表者名 取締役社長 宮 二 朗
(コード番号：8247 東証スタンダード市場)
問合せ先 経営戦略本部
財務部長 長 嶋 和 生
(TEL076-220-1100)

連結および個別決算における特別損失の計上および
業績予想値と実績値との差異ならびに剰余金の配当（無配）に関するお知らせ

当社は2026年2月期（2025年3月1日～2026年2月28日）において、下記の通り特別損失を計上することに伴い、2025年10月7日に公表いたしました2026年2月期の通期業績予想値と実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、当社は2026年4月10日開催の取締役会において、2026年2月28日を基準日とする剰余金の配当を下記の通りとすることを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結決算における特別損失（減損損失）の計上

当社企業グループでは、株式会社金沢ニューグランドホテル（以下「金沢NGH」という）がホテル業を展開しておりますが、コロナ禍や競合の激化等により事業環境が大きく変化し業績の低迷が続いており、固定資産について減損の兆候が認められたことから、将来の回収可能性を慎重に検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づいて1,967百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

2. 個別決算における特別損失（関係会社事業損失引当金繰入額）の計上

上記1により金沢NGHの債務超過が拡大したため、同社に対する関係会社事業損失引当金繰入額1,628百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、2026年2月期決算において、当該関係会社事業損失引当金繰入額は連結決算では消去されております。



3. 業績予想値と実績値との差異

(1) 2026年2月期 通期連結業績予想値と実績値の差異 (2025年3月1日～2026年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	16,200	320	200	220	39円22銭
通期実績 (B)	15,983	190	181	△1,132	△201円91銭
増減額 (B-A)	△216	△129	△18	△1,352	—
増減率 (%)	△1.3	△40.4	△9.4	—	—
(ご参考) 前期実績 (2025年2月期)	16,434	195	142	192	34円33銭

(2) 2026年2月期 通期個別業績予想値と実績値の差異 (2025年3月1日～2026年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	13,700	320	180	200	35円66銭
通期実績 (B)	13,448	278	130	△1,173	△209円19銭
増減額 (B-A)	△251	△41	△49	△1,373	—
増減率 (%)	△1.8	△13.0	△27.7	—	—
(ご参考) 前期実績 (2025年2月期)	13,996	309	106	175	31円20銭

(3) 差異が生じた理由

(連結)

通期の連結業績につきましては、主力の百貨店業において、重点顧客層の更なる深掘りと次世代顧客層の獲得に向け、引き続き、地域では大和にしかできない「新しい商品と企画」の開発強化に取り組んで参りました。

売上面では、高級輸入時計や化粧品等の雑貨区分が堅調に推移した他、「大北海道展」等の食品物産催事が好調に推移しましたものの、インバウンド関連売上が減少した他、1月の大型寒波の影響等もあり前回予想を下回りました。

利益面につきましては、売上高の動向に伴う売上総利益の減少に加え、当社連結子会社である金沢NGHにおいて減損損失を特別損失として計上したことにより、実績値が業績予想値を大幅に下回る結果となりました。

(個別)

通期の個別業績につきましては、連結記載の百貨店業と同様の理由により、売上高は前回予想を下回り、各利益につきましても連結と同様、前回予想を下回りました。当社連結子会社である金沢NGHの債務超過が拡大したため、関係会社事業損失引当金繰入額を特別損失として計上したことにより、実績値が業績予想値を大幅に下回る結果となりました。



4. 剰余金の配当（期末配当）について

（1）剰余金の配当

	決定内容	直近の配当予想	（ご参考）前期実績 （2025年2月期） 年間
基準日	2026年2月28日	同左	2025年2月28日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	0円00銭
配当金総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

（2）理由

当社は、企業体質の強化と今後の事業展開などを総合的に判断し、配当を行うことを利益配分の基本方針としております。

2026年2月期の剰余金の配当（期末配当）につきましては、今後の財務状況等を総合的に勘案した結果、無配とさせていただきます。

今後は、安定的な収益基盤を確立の上、利益剰余金の積み上げに取り組んでまいります。

以 上